



NAB 2006 Booth #SL2923

速報

連絡先: Travis McGee, Griffin Public Relations

& Marketing

(212) 481-3456 Ext. 24

tmcgee@griffinpr.com

新しくアップグレードした FAIRLIGHT のオーディオビデオネットワークソリューションの 放送局とポスト環境での流線型 HD ワークフロー

Fairlight MediaLink は複数の Fairlight オーディオ/ビデオテクノロジーと AVID Unity 環境や Auto Desk フィニッシングツールなどの非 Fairlight ハードウェア/ソフトウェアのネットワークを可能とします。

2006年4月24日オーストラリアのシドニーにて- 放送局やポストプロダクションでのより進化したワークフロー効率への移行の中で、HD コンテンツにおいて、Fairlight は今日、Fairlight オーディオ/ビデオテクノロジーのさらなる統合での新しい MediaLink ネットワークを披露しました。さらに、MediaLink は AVID Unity 環境や Auto Desk フィニッシングツールなどのサードパーティのハードウェア/ソフトウェアとのネットワークが可能です。

「我々の目標は、個々のワークグループレベルでの生産性を高めることです。」Fairlight のマーケティングディレクター Stuart DeMarais 氏は言います。「結果として我々のミキシングコンソール、DAW と他のオーディオ/ビデオ製品は独立型で使用でき、さらにはサードパーティハードウェアとソフトウェアでのもっと広い MediaLink ネットワークの一部として使うことができます！」

Fairlight MediaLink 高速オーディオネットワークソリューションは放送局やポストプロダクションスタジオを最大に進化させながらシームレスな統合をなし得ています。MediaLink は中央のサーバーからネットワークリンクを通して多数のマルチトラックプロジェクトのリアルタイム再生を可能にし、複数のワークステーションが短い締め切りの主要プロジェクトを扱うことができるようにします。Fairlight MediaLink で、複数のエンジニアが即座に、同時に、ダイレクトに中央のサウンドエフェクトライブラリーやネットワークに既存のプロジェクトにアクセスすることができます。

MediaLink はシームレスなシステム統合と OMF や Wiretap、その他の共通のワークステーションフォーマットとの互換性によって、プラットフォームやフォーマットの非互換やソース素材の複製をなくしています。MediaLink AV は Fairlight の最適化されたビデオネットワークング/ストリーミングソリューションです。Fairlight の支持されたバンドウィズネットワークストリーミングテクノロジーを使って、MediaLink AV が置かれたサーバーはリアルタイムオーディオと DV25 または JPEG ビデオストリームを 1 つの中央メディアボリュームから標準 Windows/Linux サーバーよりも定量化可能に維持することができます。MediaLink AV で、

すべてのメディアは複数のボリュームに分かれることなくそしてバンドウィズの障害に制限されることなく1つの検索しやすい中央のボリュームに置かれます。

Fairlight MediaLinkはFairlightからのパワフルなネットワークソリューションである会社独自のVirtual Studio Runner を装備し、生産性を最大限にし、コストを削減し、電子的トラフィックでのエラーをなくし、オートメートのインポート/オフライン格納機能を持っています。Fairlight のMediaLink サーバーテクノロジーをホストとして使い、Virtual Studio Runner はファイルをEメールまたはFTPを通して直接クライアントへ、あるいはDREAM コントロールパネルからすべて直接、Quality Assurance の内部メールボックスへファイルをコンバートし送ることができます。Virtual Studio Runner は入ってくる AIFF, WAV, B' WAV, MP3, OMF 1+2, AAF, PT5.0 または AES-31 ファイルを自動的にインポートします。

Fairlight の包括的高速サウンドライブラリーである AudioBase3 で、複数の DREAM ユーザーがサウンドライブラリー、音楽ライブラリー、その他ネットワーク上のサウンドファイルを共有、検索することができます。そして、AudioBase3 は標準のブラウザで検索することが可能なため、クリップの試聴のためにワークステーションをタイアップする必要はありません。

システムの機能性を越えて、Fairlight はプラットフォームプロバイダー間でのファイル交換を発展させる努力も行ってきました。複数の製造メーカーからの協力で AVTransfer ファイル変換ユーティリティが開発され、オーディオプロフェッショナルは今日の主要なプロ用フォーマットのオーディオファイルやプロジェクトを開いたり、プレイしたりエクスポートすることができます。AVTransfer は AES 31, OMF バージョン 1 と 2, AIFF, AAF, WAV, BWAV, Pro Tools 4 & 5, Open TL, Fairlight ML4, Fairlight MT, AutoDesk / Discreet Wiretap , DSP Media 間でコンポーネントの抽出の追加をすることができます。AV transfer は Fairlight, Lightworks, Avid, Pro Tools, AMS Neve Audiofile, Final Cut Pro, Sadie, Wave Frame, Tascam, Nuendo, Akai, DAR, Discreet Edit など業界で最もポピュラーなプロフェッショナルワークステーション間でのインポート/エクスポートが可能です。

最終的に、Fairlight SX-48 Signal Exchange ユニットはアナログ/デジタル両方の入出力の柔軟な I/O 管理を行い最大 48 チャンネルの密度を1つの 2U フレームに詰め込んでいます。各スタンダード SX-48 フレームは MADI I/O カードと一緒に梱包されており、双方向の信号フローを各 48 チャンネルユニットに対して多重送信します。デジタル信号は外部 AES, ワールドクロック、Hi Definition 制作環境で使われる際のトライレベル基準などのスタンダードフレームレートのビデオにリファレンスすることができます。SX-48は44.1KHZから192 KHZのあらゆる標準サンプリング周波数に対応するように設計されています。

Fairlight について：

オーストラリアのシドニーを拠点とする Fairlight はスタンダード及び高水準のオーディオポストプロダクション、放送、音楽プロダクション作業のためのデジタルオーディオレコーディング、エディティング、ミキシングシステムを含んだメディア制作ツールの設計、製造を行っています。Fairlight の DREAM ファミリーには Satellite, Station Plus, Constellation XT と Anthem があります。DREAM シリーズは QDC テクノロジーが実装され空前のスピード、柔軟性、優れた音のパフォーマンスを実現しています。プラットフォームは DSP ベースの VST などのサードパーティのプラグインの完全なセットもサポートしています。

Fairlight のMediaHub ネットワーキング戦略はFairlight のPyxis NLV システムへのビデオの安定したバンドウィズストリーミングと優秀なメディアマネージメントソリューションと同様にオーディオとビデオネットワークがリアルタイム、マルチノードアクセスで高速オーディオデータベース共有に対するソリューションを提供します。

Fairlight の技術子会社 AV Media はノンリニアスタンダードとハイデフィニションのビデオツール、メディア転送ユーティリティを革新し供給しています。